

2025 年度 事業報告書

I. 事業状況

山岡記念財団は、2016 年 11 月に創設され、「日本及びドイツ並びに欧州の学術及び文化の交流を行い、もって日本及びドイツをはじめとする欧州の社会の持続的な発展に寄与する」とした定款第 3 条に基づき「学術」「芸術」「人的交流」の 3 つの事業に分類し、学術及び文化交流事業活動を行った。以下に事業活動の概要を報告する。

1. 事業活動の概要

【学術事業】

(1) -1. 第 10 回 若者文化シンポジウム— 研究助成成果発表会—

1) 開催日時 : 2026 年 3 月 11 日 (水) 15:00~19:15

2) 場 所 : ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川

3) テーマ : 日独の越境する都市空間とデジタル創造

4) 研究者 : ・鈴木 修斗 氏

(東海大学 教養学部 人間環境学科 特任助教)

テーマ : 「日独におけるツーリスティフィケーションの大都市周縁部への拡大に関する研究—東京とベルリンにおける「蚤の市」の観光地化に着目して—」

・照井 敬生 氏

(同志社大学 客員研究員)

テーマ : 「生成 AI と著作権・独創性の意識に関する日独若手アーティスト比較研究」

・根岸 貴哉 氏

(立命館大学大学院 先端総合学術研究科 授業担当講師、立命館大学 衣笠総合研究機構 客員協力研究員)

テーマ : 「E-Sports とゲーム実況における日独間比較」

・リ イーノン 氏

(名古屋大学大学院 人文学研究科 博士候補研究員)

テーマ : 「トランスナショナルな空間と芸術コミュニティ : 日本とドイツ語圏におけるディアスポラの文化参加」

進行 : 吉田 純 氏 (京都大学 名誉教授・山岡記念財団諮問委員)

5) 参加者 : 56 名 (オンライン参加含む)

(1) -2. 若者文化、研究助成募集、審査 (第9回)

【次年度研究助成採択者】

①近藤 つぐみ 氏 (早稲田大学坪内博士記念演劇博物館 助教)

研究テーマ:「戦間期日独の異性装とクィア表象: アニタ・ベルバーとマヴォ、
エスを中心に」

②マイケ ラウパツハ 氏 (ケルン国際デザインスクール (KISD))

ケルン工科大学文化研究科 修士課程 統合デザイン研究)

研究テーマ:「日本とドイツにおける若い女性の文化的実践としてのジン」

③新川 匠郎 氏 (神戸大学大学院 国際文化学研究科)

研究テーマ:「若者のメディア接触と選挙における選択肢形成プロセス:
投票選択における固有の条件組み合わせの日独比較」

④コンスタンティン フレデリック ペレット 氏

(金沢大学 国際基幹教育院 講師)

研究テーマ「デュッセルドルフの『リトル・トーキョー』を事例とした
海外における日本人街の観光地としてのマーケティング」

⑤下川 詩乃 氏 (関西学院大学 社会学研究科 博士課程 後期課程1年)

研究テーマ「日本とドイツにおけるナイトライフ比較研究
ー若者のクラブ文化を事例に」

【芸術事業】

(1)「第9回 中高生吹奏楽部公開レッスンコンサート」(尼崎市)

1) 開催日時: 2025年6月15日(日) 14:00~17:00

2) 場 所: あましんアルカイックホール

3) テーマ: クラシック音楽を通して音楽の素晴らしさを分かち合おう!

4) 出演者: 指揮者 寺岡 清高 氏

(第1部)

尼崎市立大庄北中学校 / 尼崎市立立花中学校

(第2部)

尼崎市立尼崎高等学校 / 尼崎市立尼崎双星高等学校

園田学園中学校・高等学校

<支援参加>

大阪フィルハーモニー交響楽団メンバー 他

5) 課題曲: 第1部 エルザの大聖堂への行列 ーリヒャルト・ワーグナー

第2部 歌劇「タンホイザー」序曲 ーリヒャルト・ワーグナー

6) 入場者数: 440名

(2)「吹奏楽サマーキャンプ」(長浜市)

- 1) 開催日時 : 2025 年 8 月 17 日 (日) 18 日 (月)
- 2) 場 所 : さざなみタウン、浅井文化ホール
- 3) 参加者 : 滋賀県に在住または在学の中高校生、大学生、社会人
大阪フィルハーモニー交響楽団メンバー 他
- 4) 参加者数 : 50 名

(3)「デュオ・リサイタル」(長浜市)

- 1) 開催日時 : 2025 年 7 月 13 日 (日) 14:00~15:30
- 2) 場 所 : ヤンマーミュージアム
- 3) 演奏者 : 島原早恵氏 & 安積京子氏
- 4) 入場者数 : 126 名

【人的交流事業】

(1) 賛助会員年次総会懇親会

- 1) 開催日時 : 2025 年 6 月 4 日 (水) 18:00~20:00
- 2) 場 所 : ヒルトン大阪
- 3) コンサート : 大阪フィルハーモニー交響楽団メンバー
- 4) 参加人数 : 151 名

《実施内容》

まずはウェルカムコンサートとして、大阪フィルハーモニー交響楽団の皆様
に演奏いただき、次に山岡理事長挨拶、雪野常務理事から事業報告をした後、
大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館 総領事ザクシンガー様より、大阪・
関西万博におけるドイツパビリオンのご紹介に加え乾杯のご発声いただき、
懇親会を開催した。

今回は、ドイツらしさを演出するために今井商店(ワイン)、ケーテ・ウォル
ファルト(コーヒーや紅茶等)、ダルマイヤー(クリスマスグッズ)の3店が
懇親会場前に出店した。また、ドイツ総領事館や大阪日独協会等に働きかけ、
ドイツの方々も15名が参加、抽選会なども企画し、大いに盛り上がった。

(2) クリスマスマーケット

- 1) 開催日時 : 2025 年 11 月 29 日 (土) 11:00~18:00
- 2) 場 所 : ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川
- 3) 来場者数 : 3,000 名弱

《実施内容》

今年は大学生の研修生が企画・運営し、物販スタンドやお楽しみ抽選会、
親子コンサートなどの定番のプログラムに加えて、当レジデンスに滞在中の
アーティストたちによるオープンレジデンスも同時に開催した。

(3)「アート・デザイン・ものづくりのためのラボ」

i. 展覧会「野生の獲物」 オラフ・ホルツアプフェル 瀬戸内国際芸術祭

1) 展示期間： 2025 年 10 月 3 日（金）～ 2025 年 11 月 9 日（日）

2) 場 所： 伊吹島中心部（香川県）

《実施内容》

ベルリン在住の美術家、オラフ・ホルツアプフェルが、瀬戸内国際芸術祭・秋会期で作品を展示した。岡山県の宮大工集団、杣耕社の木造構造物と、京都府和束町の上嶋産業が作ったしめ縄で表現した同作品は、伊吹島の自然環境と人々の暮らしからインスピレーションを得て制作された。

ii. 展示「オブジェ「Suiteki（水滴）」と「Nut Family（くるみ割り人形）」

1) 展示期間： 2025 年 7 月 1 日（火）～ 2025 年 8 月 31 日（日）

2) 場 所： YANMAR FLYING-Y BUILDING（ヤンマー本社ビル） 1 階

《実施内容》

フランクフルトのデザイナー、カイ・リンケと、京都西陣の漆屋、佐藤喜代松商店の 4 代目代表・漆精製職人、佐藤貴彦が共同で制作した作品を YANMAR FLYING-Y BUILDING に 2 か月にわたって展示、7 月 4 日には大阪・関西万博ドイツ館のステージでインタビュー形式によるプロジェクト紹介が行われた。

(4) ハープ四重奏

1) 開催期間： 2025 年 8 月 19 日（火）～ 2025 年 8 月 23 日（土）

2) 場 所： 大阪・関西万博（ドイツ館）

3) 出演者： ハープ演奏家 4 名（司会：ヴィリー・フーバー氏）

《実施内容》

演奏当日は炎天下にもかかわらず、100 名以上の観客が集まり、会場は熱気に包まれるなか演奏が始まり、披露された曲の中には、「上を向いて歩こう」や「マツケンサンバ」など、日本の楽曲も含まれた。また、ベートーヴェンの第九をワルツ調でオーストリア、琴のような弾き方で日本、木製の胴部分を叩いてサンバ調でブラジル、を表現し、曲調を変えながら各国の特徴を巧みに取り入れた演奏が観客を大いに盛り上げた。

2. その他活動

(1) 賛助会員募集

2016 年 12 月から募った賛助会員は、2026 年 3 月現在、法人 166 社、個人 42 名の計 208 会員となった。